

中央労福協 第67回定期総会を開催



中央労福協は11月21日、第67回定期総会をアートホテル日暮里ラングウッド（東京都内）にて開催しました。総会には207名の代議員（会場出席129名、委任78名）が出席し、鳥取県労福協からは、山口理事長と重村専務理事が出席しました。芳野会長より「加盟団体の皆さんにはこれまで以上に労福協運動に関与いただくとともに、中央労福協も労働団体・事業団体・地方労福協105団体との結節点となる機能を高めることで、様々な社会課題・地域課題の解決につなげていきたいと考えています。労福協運動へのさらなるご参加をお願いいたします」と挨拶がありました。

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新しい年を健やかにお迎えになられたこととお慶び申しあげます。
また、これまでの皆さまのご支援・ご協力に、心から感謝を申し上げます。

昨年は、日本全国で地震の発生やゲリラ豪雨の発生、灼熱地獄のような暑さなどにより、どこにいても、またいつ何時自然災害が起ころうかわからない状況です。改めて、一連の地震災害・豪雨被害によって亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を捧げるとともに、負傷された皆さま、住まいを失った皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

さて、人間は何故戦争をするのでしょうか？…してはいけないことだと頭ではわかっているはずなのに相手に危害を与えててしまう。もしかしたら友達になれる者が殺し合い、傷つけ合うことはあってはならないことです。改めて厳しく非難し、一日も早く平和な日々が戻ることを切に願います。80年前の日本を絶対に再現してはいけません。

今年も労働者福祉事業団体がさらに連携して、労働者が生活やすい環境を目指していくために、「学習会」「スポーツ祭典」「囲碁将棋大会」「労働者美術展」「福祉カンパ」「労福協まつり」などのほか、ライフサポート事業として「法律相談」「こころの相談」「労働相談」などを展開してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

年頭のごあいさつ



理事長 山口 一樹

一般財団法人鳥取県労働者福祉協議会

新年ご挨拶

日本労働組合総連合会鳥取県連合会

会長 北畠 仁史



新年あけましておめでとうございます。

皆様、穏やかに新年を迎えたでしょうか。

昨年を振り返りますと、戦後80周年という節目の年がありました。国際社会は平和共存への道筋を願っていますが、依然紛争は無くなりません。私たちは、過去の教訓を生かし、「武力による行使ではなく、対話や交流を通じて解決策を探る」ということを常に認識し、理解しなければならないと感じています。

さて、昨年11月に開催した第33回定期大会にて新たな連合鳥取の役員体制がスタートしました。私たち連合鳥取は、組合員はもとより県下の労働者のために「必ずそばにいる存在」として、寄り添い多様性を包摂する運動を深化させなければなりません。

一般財団法人鳥取県労働者福祉協議会と共に労働者福祉の向上と「安心・共生の社会づくり」を目指したいと思います。

今年の干支「丙午」には、「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」という特徴があるそうです。

情熱と行動力で連合鳥取がこれまでの間、取り組んできた運動を停滞させることなく、前進させ、持続可能性の確保に向け果敢に運動にチャレンジしていきます。

今年一年、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

中国労働金庫北部エリア営業本部

本部長 仲田 敏幸



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい年を健やかにお迎えになられたこととお慶び申しあげます。旧年中は、当金庫の事業運営や活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申しあげます。

さて、2025年度も『とことん』お役立ち宣言をスローガンに会員・間接構成員とそのご家族へのお役立ちを実現するため役職員一丸となり取組んでまいりました。「金利のある世界」となり預金獲得競争が激化し、金融機関は体力勝負の状況にあります。私どもも預金獲得のひとつとして、2026年2月末まで期間限定で特別金利定期預金「とことん定期W<ウィンター>」を発売しています。会員・構成員とそのご家族に短・中期の資産形成のお役立ちとして取組んでまいりますので、より一層のご支援をお願いいたします。

本年が、皆様にとってより良い年となりますようお祈り申しあげます。

こくみん共済 coop 鳥取推進本部

本部長 松崎 浩哉



新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、「こくみん共済coop」の事業と運動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

さて、昨年多くの自然災害が発生し、各地で甚大な被害をもたらしました。温暖化の影響なのか、四季のある穏やかな日本の気候が失われ、異常気象が年々身近なものとなってきているような気がいたします。また、トカラ列島では2千回を超える群発地震も発生しており、南海トラフ地震のリスクも増大しています。「こくみん共済coop」では今次中経において「保障の見直し運動」として、無保障の方、保障の不十分な方を無くす取り組みを展開してまいりました。この鳥取の地は、あまり災害の発生が無い土地との認識の方が多いようですが、万が一の時の備えの必要性は増してきています。ぜひとも、助け合いの仕組みである「こくみん共済coop」を役立てていただければ幸いです。

いずれにしましても、労働者自主福祉運動の歴史と理念を忘れずに、組合員の皆様の生活向上のお手伝いをさせていただくよう努めてまいります。本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、2026年が皆様にとって明るく、実り多い一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。

鳥取県生活協同組合

代表理事 理事長 井上 約



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい年を健やかにお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、弊組の事業や活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

『第10次中期3か年方針「継承・発展・改革・そして挑戦」』(2024年～2026年)に取り組んでいる中、昨年は「創立75周年」という節目の年を迎え、各種の記念事業を実施することができました。会員の皆様のご協力に改めて感謝を申し上げます。これからも地域の皆様に頼られる存在となるため、協同する力を發揮し、地域福祉の増進につながる取り組みをしていかなければいけないと決意を新たにしました。今後も鳥取県労働者福祉協議会が目指す「人として夢ある福祉社会」の実現に向けた活動に積極的に参加しながら、組合員や県民の皆様の暮らしの中での安心・安全を提供するための事業や活動に取り

組んでまいりたいと思います。

今年は「創立80周年」へ向けた新しい一步を踏み出しますが、県内の労働者福祉事業団体との連携を強めるとともに、鳥取県労働者福祉協議会の一員として地域に「共助の輪」を広げていきたいと思います。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

鳥取医療生活協同組合



組合長理事 竹内 勤

新年あけましておめでとうございます。旧年中は鳥取医療生協の活動にご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて昨年10月、日本維新の会と連立した自民党の高市政権が誕生しました。この政権では、医療費総額を年間4兆円削減、OTC類似薬の保険外し、全国の医療機関の病床を11万床削減、高齢者の医療費窓口負担の引き上げなど、現役世代の社会保険料負担軽減を名目とした医療費全体の削減が狙われています。

一方で、全国の医療機関の経営悪化が進み、経常利益の赤字病院は6割を越えており、緊急の支援が必要な状況です。診療報酬の大幅引き上げが望されます。

鳥取医療生協では、困難な医療情勢の中、若桜さくらの郷の事業を軌道に乗せ、鹿野温泉病院では休止していた病床を、有料老人ホームへと転換すべく工事を進めており、本年3月には竣工予定です。新たな住宅事業の展開によりこの地域に住んでおられる高齢者の方がいつまでも安心して暮らし続けられるようサポートしていきます。

鳥取医療生協は、本年も国民のいのちと暮らしを守るために、事業を通じて奮闘して行きたいと考えます。

皆様にとって良き年になるよう祈念して、新年のごあいさつといたします。

鳥取県労働者福祉協議会東部支部



支部長 下田 誠

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて2025年の労福協まつりでは、一昨年に引き続き鳥取市河原町河川敷（あゆ祭り会場）にて「鮎のつかみ取り」と「bingoゲーム大会」を開催し、一昨年を上回る約600名もの組合員やそのご家族に来場いただきました。前回の反省を活かしながら企画しましたが、新たな問題点も見つかり、皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。この企画が定着し、皆様にとっても恒例行事となるよう努力しますので、本年も多くの方にご来場いただきますようよろしくお願ひ致します。

また、労働者スポーツ祭典の開催やふれあい広場への参画、街頭福祉カンパ活動などを通じ、多くの方と交流ができました。様々な活動の中でたくさんの笑顔と温かいご支援をいただけたことで、労福協の大切さを改めて感じました。皆様のご協力に改めて感謝いたします。

2026年も労働者福祉事業団体と労働組合が共に活動す

ることで、共助の輪を広げ、皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、新年の挨拶とさせて頂きます。

鳥取県労働者福祉協議会中部支部



支部長 朝倉 孝好

新年明けましておめでとうございます。

皆様、2026年の幕開けを心よりお祝い申し上げます。昨年より中部支部長を仰せつかり、至らぬ点も多々ありますが、皆様のご協力と熱意に助けられ、多くの成果をあげることが出来たと感じております。心から感謝申し上げます。

昨年は、労働者スポーツ祭典並びに中部労福協まつりなどが開催されました。多くの組合員やその家族にご参加いただき、皆様の笑顔やにぎわう姿を見て、今後もこの活動を継続し、さらなる発展を目指して、新しい年においても、皆様の意見やアイデアを大切にしながら、中部支部の活動を盛り上げていきたいと思います。

結びとなりますと、皆様にとって2026年が、幸多き年となりますようご祈念申し上げ、簡単ではありますが、新年のご挨拶といたします。

鳥取県労働者福祉協議会西部支部



支部長 内田 浩文

新年あけましておめでとうございます。旧年中の格別のご高配、厚く御礼申し上げます。

西部支部では、毎年、11月に労福協まつりを、12月に福祉募金を会員の皆様とともに行っています。労福協まつりでは、たくさんの子ども連れのご家族にご参加いただきました。子どもたちにはバルーンアートが大盛況で、嬉しそうに持ち歩く姿と笑顔が印象的でした。福祉募金は時折強い風が吹く中でしたが、暖かい日差しのもと、多くの方にご協力いただきました。中でも、募金を呼び掛ける会員の姿を不思議そうに見ていた幼い姉妹が、母親に事情を聴き、硬貨をもらい、恥ずかしそうにはにかみながら募金する姿を微笑ましく感じました。まつりも募金も多くの方々の協力と、人と人の繋がりがあって成り立っていることを改めて感じました。笑顔は私たちの心を穏やかにするものだと感じます。私たち労福協は人々の笑顔を繋ぐ架け橋のような存在でありたいと思います。

本年も、ともに手を携えて支え合い、実り豊かで幸せ一杯の、素晴らしい一年になるようご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

目次

新年ご挨拶	P2～P3
ろうきんからのお知らせ	P4
こくみん共済coopからのお知らせ	P5
支部だより 東部支部・中部支部	P6
支部だより 西部支部	P7
第43回西部労福協研究集会参加報告	P8
第36回囲碁・将棋大会開催のご案内	P8



こくみん共済 NEWS
coop

みんなが育てた 安心のネットワーク それが「こくみん共済 coop」です

戦後まもないころ。ひとたび火災が起きると生活が崩壊する時代。

そこで職場の仲間たちが少しずつお金を出し合い、

お互いをたすけあう火災共済をつくったことが、

こくみん共済 coop のはじまりです。

その後、共済の種類を増やし、さまざまな社会課題に向き合いながら、
生活協同組合として組合員の皆さんと活動を広げてきました。

今では加入件数2,893万件、

1年間にお支払いした共済金は3,175億円と

大きなたすけあいの輪に発展しています。

※2025年5月末現在

たすけあいの輪をむすぶ



こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

「こくみん共済 coop」は営利目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



公式キャラクター ピットくん



街頭福祉カンパ活動報告

12月6日（土）街頭福祉カンパ活動を市内3カ所で実施しました。構成組織から参加していただいた方々にのぼり旗の他、声掛けやチラシ・粗品配布などを行っていただきカンパへの協力を呼びかけました。

子どもから高齢者の方まで幅広い方々がご協力してくださりカンパ金は、総額184,643円にのぼりました。このカンパ金は、2027年1月末まで実施中の職域カンパと合わせて、地元の福祉事業所や子どもたちの福祉施設へ寄贈させていただきます。ご協力ありがとうございました。

街頭カンパ集計結果

2025年12月6日(土)10:00～14:00 3店舗

カインズホーム鳥取店	72,350円	(昨年： 70,120円)
サンマート湖山店	72,470円	(昨年： 83,259円)
エスマート湖山店	39,823円	(昨年： 35,228円)
合計		184,643円 (昨年： 188,607円)



街頭福祉カンパ活動報告

労福協中部支部では、2025年12月21日（日）に、アパート（琴浦町）、東宝河北プラザ、新あじそうパープル店、いない倉吉中央店（倉吉市）の4か所にて、年末福祉カンパ活動を実施いたしました。

この活動は、将来を担う子どもたちが健康で豊かな生活を送るために、地域としてできる支援を行うことを目的に続いているもので、今年で47回目を迎めました。

当日は、役員・組合員あわせて36人にご参加いただき、買い物客や地域の皆さまから温かいご支援をお寄せいただきました。

その結果、合計75,678円のカンパ金が集まりました。ご協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





第22回労福協(社会貢献)まつりを開催



今年も社会貢献を挙げ、「共生社会の実現」をテーマに障がい福祉作業所の協力のもと、4年ぶりに米子産業体育館サブアリーナで11月15日に開催しました。

当日は、同じ産業体育館内のメインアリーナで中国電力さんが感謝祭を開催しており、相乗効果?を期待できる日取りとなりました。

来場した子どもたちは、ふわふわドームをはじめ、当てくじ、ストラックアウト、そしてバルーンアートなどに夢中になっていました。またクリスマスをテーマにしたツリー、リース、万華鏡つくりには多くの家族連れの方に来ていただき、フェルトで作るクリスマスツリーは途中で品切れとなっていました。

恒例の献血コーナーでは、構成組織から100人ほどの多くの方が来られたことに対し、みなさまのご協力に感謝申し上げます。

近年のまつりは室内のみで、福祉作業所による来場者プレゼント作成・物販等、子どもとともに多くの方に来場いただき、まつりを終えることができました。

引き続き、今後も「共生社会の実現」をめざして活動を取り組むこととします。



街頭福祉カンパ活動報告

西部支部では今年も米子・境港市内の「まるごう」さんの3店舗玄関前をお借りして、カンパ活動を行いました。物価高の影響からかカンパ金は昨年度には及ませんでしたが、市民の皆さんから“子どものためなら”との声もいただきながらご協力いただきました。



西部労福協**「第43回研究集会」を開催**

2025年11月6日(木)、KAMEFUKU ON PLACE(山口市)において、西部労福協「第43回研究集会」が開催されました。鳥取県労福協からは6人が参加しました。今回のテーマは「持続可能な社会」として、以下の講演を聞きました。

**講義Ⅰ**

「well-beingな暮らしに繋がるDXとは?」
山口大学

国際総合科学部 教授 杉井 学さん

**講義Ⅱ**

「地域持続可能な地域社会のあり方を考える
-人口減少・高齢化と家族の変容のなかで-」
山口大学

経済学部 教授 鍋山 祥子さん

「持続可能な社会」を継続維持していくためには、DX（デジタル技術の活用によりビジネスモデル・業務・企業風土などを変革すること）を高度なデジタル技術と考えず、暮らしを便利に、豊かにできる方法として捉えること。過疎化が進行する中四国各県においては、新たな地域共同体（地域コミュニティ）の形成が必要不可欠であり、その中心として協同組合の役割が重要になる。等々を学びました。



鳥取県労福協

**参加費
無料**

第36回 囲碁・将棋大会を開催します！

☆みんなのご参加お待ちしています!!☆

開催日時 2026年2月8日(日) 受付10時

開催場所 まなびタウンとうはく
東伯郡琴浦町徳万266-5(浦安駅東隣)
電話0858-52-1111

参加資格 県内勤労者の団体(労働組合・企業単位及び事業団体等)で、原則としてアマチュアであること、OBの参加も可能です。

※鳥取県労福協のホームページより申込書がプリントアウトできますのでご利用ください。



発行責任者 山口一樹 編集責任者 重村和光 編集委員 常松美紀・森本公司・福政尚美・谷口美紀
発行日 二〇二六年一月 発行 鳥取市天神町三〇番地五 (一財)鳥取県労働者福祉協議会 第329号

TEL(0857)271-4188